

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 29 年 1 月 19 日 (2017.1.19)

【公開番号】特開 2016-200073 (P2016-200073A)  
 【公開日】平成 28 年 12 月 1 日 (2016.12.1)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-066  
 【出願番号】特願 2015-81399 (P2015-81399)  
 【国際特許分類】

F 0 4 D 13/16 (2006.01)

F 0 4 D 13/00 (2006.01)

F 0 1 P 3/20 (2006.01)

【 F I 】

F 0 4 D 13/16 W

F 0 4 D 13/00 E

F 0 1 P 3/20 A

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 6 日 (2016.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

本実施形態のポンプ排水機場の冷却設備は、図 1 に示すように、内燃機関 7 と、内燃機関 7 によって駆動され内燃機関 7 を冷却水 W で冷却する冷却水ポンプ 1 2 と、冷却水 W を貯留する貯水槽 2 0 とを備えたポンプ排水機場の冷却設備であって、貯水槽 2 0 が、その内部と外部とを連通する連通管 1 8 を備えている。

なお、このポンプ排水機場には、第 1 の床 1 の下方に設けられた吸込水槽 3 と、吸込水槽 3 内の水を吸い上げて排水する排水ポンプ 2 とが設置されている。また、上記内燃機関 7 は、排水ポンプ 2 を駆動するディーゼル機関である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 4 】

連通管 1 8 の水位は、貯水槽 2 0 より高い位置に保持され、吸込管 2 3 の一端が貯水槽 2 0 の底部近傍まで垂下され、吸込管 2 3 の他端は冷却水ポンプ 1 2 の吸込側に接続されている。

上記冷却水ポンプ 1 2 の吐出側は 2 つに分岐され、一方は内燃機関 7 の冷却ジャケット 1 0 の入口に接続されていると共に、他方は減速機 8 のオイルクーラ 1 1 の入口に接続されている。また、冷却ジャケット 1 0 の出口側とオイルクーラ 1 1 の出口側とは、戻り管 2 4 に接続され、戻り管 2 4 の先端は連通管 1 8 内で開口している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 4 1 】

冷却水ポンプ 1 2 の吐出側は 2 つに分岐され、一方は内燃機関 7 の冷却ジャケット 1 0 の入口に接続されていると共に、他方は減速機 8 のオイルクーラ 1 1 の入口に接続されている。また、冷却ジャケット 1 0 の出口側とオイルクーラ 1 1 の出口側とは戻り管 3 3 に接続され、戻り管 3 3 の先端は連通管 3 1 内で開口している。

このように第 4 実施形態のポンプ排水機場の冷却設備では、定水位弁 4 2 が、拡径部 4 1 内の水位が一定値より下がった際に開いて、補給水源 4 5 からの水を拡径部 4 1 に補給して連通管 4 0 内の水位を一定に保持するので、冷却水 W の補給と水位管理とが容易になる。